

！「シキイバ」の「ゼカリヤ」は「べる恐

会場 千葉県文書館 1階展示室

会期：令和2年10月1日(木)～令和3年3月6日(土)

開館時間：9:00～17:00 休館日：日祝休日・毎月末平日・年末年始(12月28日～1月3日)

企画展

千葉県と疫病

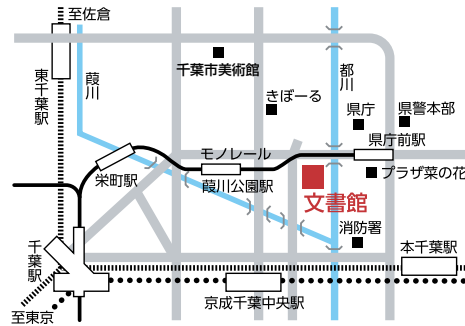
—くり返す脅威—

入場
無料

文書が現在を過去を未来を語ります

千葉県 文書館

https://twitter.com/chiba_pref_bun

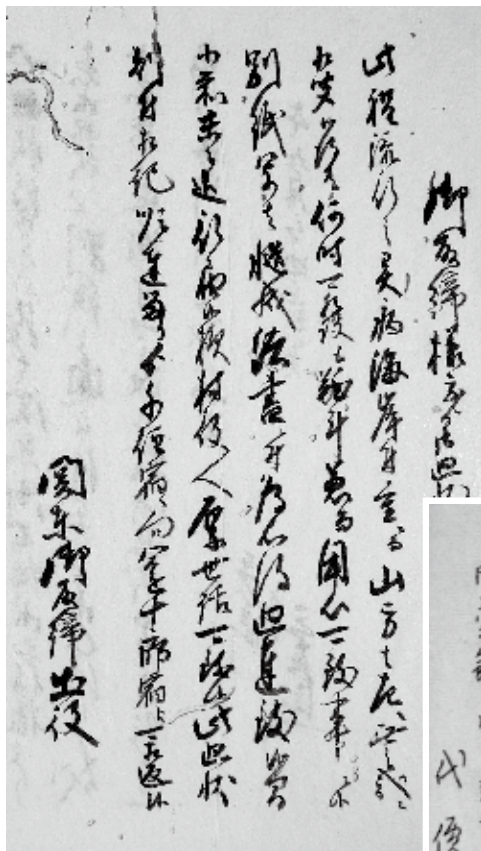


！知らぬ命ぬけかをクスマ

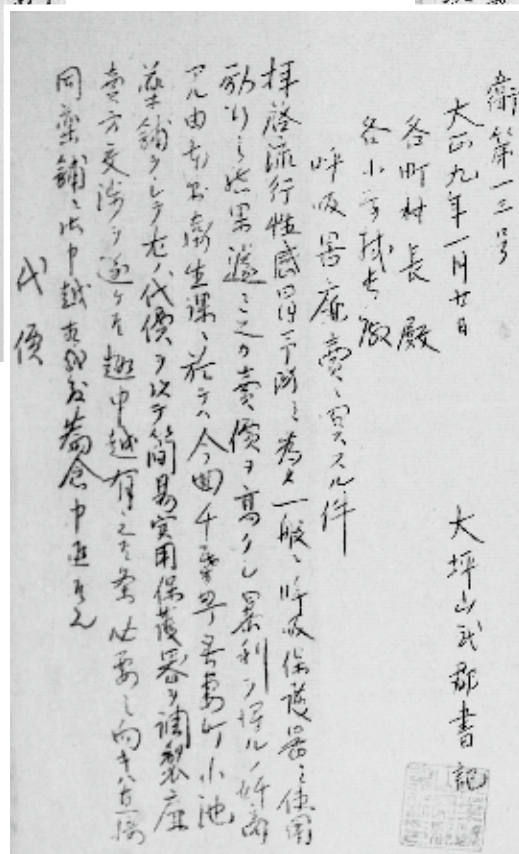
掲載資料：「ポスター(流行性感冒対策関係)」(大正9年)(内務省衛生局編刊「流行性感冒」から)(国立保健医療科学院図書館所蔵)を一部加工

国は令和2年3月に、新型コロナウイルス感染症に係る事態を「歴史的緊急事態」に指定し、その関連文書の作成や保存を適切に行わなければならないと定めました。後世に類似の事態が生じた場合、何がうまくいき、何がうまくいかなかったのか、その教訓を活かし検証が可能となるように、関係する記録資料(文書等)を大切に保存することとなったのです。

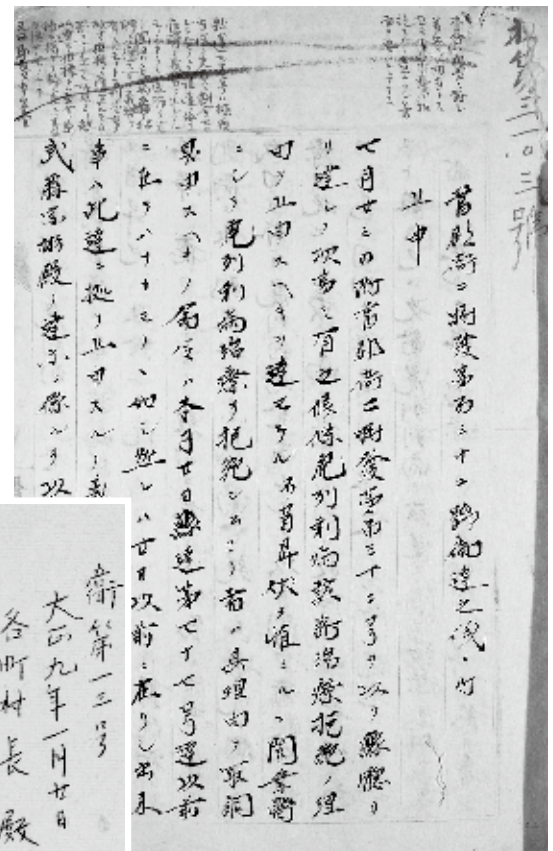
集団発生が懸念される疫病(伝染病、感染症)に対しては、迅速で適切な対応が求められます。千葉県文書館の収蔵資料からは、江戸時代の終わり頃から疫病がくり返し房総地域に襲来していることを確認することができますが、当時の行政や県民はどう対応したのでしょうか。残された古文書・公文書等から、疫病と向き合った人々の足跡の一端をたどります。



〔流行の異病に付用心すべき旨の取締出役廻状写〕(安政5年)
 (コレラの流行に対する注意喚起と対処法を記した廻状の写)



衛第13号(呼吸器廉売に関する件)(大正9年)(価格が高騰したマスクを安価に提供する旨を知らせる通達)



当郡衛に特発第百三十二号
 御達之儀に付上申(明治19年)
 (コレラ治療における二次感染の恐れなどを述べた医師の意見書)

交通案内

JR本千葉駅徒歩10分／千葉都市モノレール県庁前駅徒歩3分／京成千葉中央駅徒歩10分／
 JR千葉駅徒歩20分／JR千葉駅からバス2,3,4番乗り場より県庁前バス停車徒歩3分